

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月18日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮崎市	代表者名	市長 戸敷 正
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0985-21-1722
担当者役職	主幹兼係長	担当者氏名	安田 有紀子
住所	880-8505 宮崎県宮崎市橘通西一丁目1番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	豊島区の職員として実績を収められていることもあり、内容が身近に感じられた。
アドバイザーへの要望事項	今後とも、本市への助言をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年11月16日	14時00分	16時30分		150
3-2. 派遣場所	会場名	宮崎市民プラザ		最寄駅	宮崎駅
	所在地	宮崎市橘通西一丁目1番2号		最寄駅からの交通手段	宮崎駅から宮崎交通バス【橘通り1丁目】下車3分。空港からはバス
	派遣形態	事前打合せ(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	①11月17日に実施していただく講演のスケジュール等打合せ ②市の庁舎が9年後に耐用年数を迎えるにあたり、失敗しない庁舎建設に向けた取組について関係部署の若手職員の意識の醸成(意見交換)	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	①講演を滞りなく実施する ②庁舎建替え時に在席しているであろう若手職員と意見交換することにより、建て替えまでに取り組む必要があるICT活用などについての課題を把握する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	②豊島区の事例や高橋氏が関わってこられた自治体の事例を交え、テレワーク、ペーパーレス化、電子申請などの導入の経緯やその効果などについて話していただいた。また、職員が疑問に思ったことについて質問し、回答をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	②職員が疑問に思ったことについて回答していただくことにより、漠然としていたことが明確になった。また、導入の時点では最良だと思ったことでも、時代は流れており、いかに柔軟性を持たせられるかが重要であることをご教示いただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 若手職員の意識の向上
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演の打合せ及び意見交換のみにとどまり、アンケートは実施しておりません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	幅広い部署の若手職員との意見交換	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月18日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮崎市	代表者名	市長 戸敷 正
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0985-21-1722
担当者役職	主幹兼係長	担当者氏名	安田 有紀子
住所	880-8505 宮崎県宮崎市橋通西一丁目1番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	元自治体職員として勤務されていたこともあり、話の内容が身近に感じられ、今後の庁舎建替えを見据えて、すぐにでも取り組むことができそうなことから、時代の流れをみながら柔軟に対応していく必要があることなど、働き方改革につながる取組について分かりやすく説明していただいた。
アドバイザーへの要望事項	今後とも、本市への助言をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年11月17日	9時30分	12時00分		150
3-2. 派遣場所	会場名	宮崎市民プラザ		最寄駅	宮崎駅
	所在地	宮崎市橋通西一丁目1番2号		最寄駅からの交通手段	宮崎駅から宮崎交通バス【橋通り1丁目】下車3分。空港からはバスで
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	146人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市では、庁舎のあり方について検討しているところですが、併せて地域内分権についても検討していく必要があります。これらの検討と平行して、長時間労働の是正、ワークライフバランスの確保や感染症対策の観点から、働き方改革に取り組んでいく必要がありますが、改革を促進するためには、働き方改革に対する管理職の意識の醸成が必要だと思われます。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	アンケートにより、働き方改革への意識の高まりやICTの積極的な導入についての意見や感想が得られること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	豊島区の職員時代のご経験や他自治体の事例を交えながら、働き方改革の意味や自治体における生産性向上、管理職の役割についてご教示いただいた。また、マイナンバーカードの普及とその効果や活用についてもご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	アンケートの結果をみても、働き方改革について再認識する機会となり、働き方改革に繋がる取組(ICT活用、テレワーク、ペーパーレス化等)について事例を交えて講義していただいたことから、今後の業務遂行にあたっての意識付けとなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	目的が、職員の意識改革であるため、すぐに成果がでるものではないが、アンケートを見る限りでは各職員の意識への働きかけはあったと思われる。	
改善又は解決されなかった内容	特になし	
持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを提出した132名のうち、85%の管理職職員が講演内容を「良い」「とても良い」と回答した。講師が元区役所職員ということで、共感でき、事例を交えた話が分かり易かった、時間の使い方、大切さについて再認識した、働き方改革について考えるきっかけになったという意見が多かった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今後も管理職の意識改革を図るための研修等を実施していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

